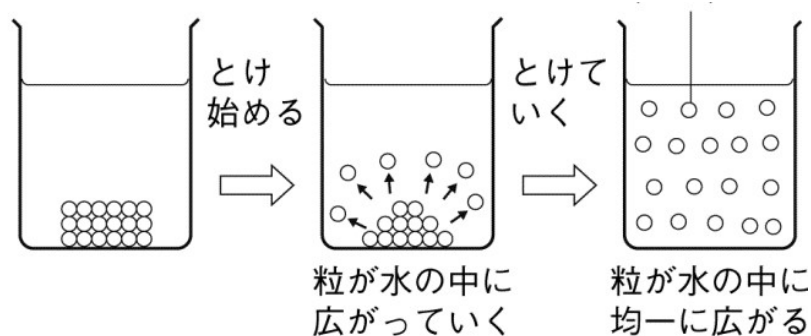


第 1 分野 1－8 水溶液の性質

- 1 100 g の水に 30 g の砂糖を加えて、ガラス棒でよくかき混ぜた。砂糖が完全にとけた後、砂糖水の質量をはかると X g であった。下の図は、砂糖が水にとけていくときの様子を模式的に表したものである。あとの問いに答えなさい。



- (1) 次の文は、物質が液体にとけることについて説明したものである。文中の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

物質を液体にとかすとき、液体にとけている物質を（ ① ）、①をとかしている液体を（ ② ）という。また、①が②にとけた液体を（ ③ ）という。特に、②が（ ④ ）である③を（ ⑤ ）という。砂糖水において、①は（ ⑥ ）である。

- (2) ビーカーの状態が図の最も右側のようになってから 2 週間後、ビーカーの状態はどのようなになるか。次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 水の中の粒が上の方に集まる。
イ 水の中の粒が下の方に集まる。
ウ 水の中の粒が再び固体に戻る。
エ 水の中の粒は均一に広がったまま変化しない。

- (3) X にあてはまる数を整数で答えなさい。

- (4) ある質量の水に 30 g の砂糖を完全にとかした後、砂糖水の質量をはかると 190 g であった。用意した水の質量は何 g か。答えなさい。

(1)	①	②
	③	④
	⑤	⑥
(2)		
(3)		
(4)		